



全国選抜大会で優勝！(高田こころ=1年、ボルダリング)

高いレベルを目指して、

No. 42
鳥取中央育英

高窓会報

創立110周年
2017 (平成29) 年

緑ヶ丘 登 希望の未来

(書：山田美鈴 = S58卒業展無鑑査等)

会報は同窓生の心と心をつなぎます。送り先を、どんどん増やしてまいります。たくさんの方々から「活動協力金」を頂戴したこと、心から感謝申し上げます。

同窓生のみなさん、こんにちは。同窓会報を初めて手にした人もあるかも知れません。昨夏の総会で「活動協力金」を創設していただき、その後、続々と浄財が寄せられました。そのお金を使って、今回から全国各地の同窓生の元へ会報を届けることにしました。おかげさまで、同窓会活動はいぶん活発になってまいりました。総会は322人が集まり、世間をあっど驚かせました。会報には、そんな同窓生の元気な姿や活動が掲載されています。緑ヶ丘から力強い希望の発信です。

同窓会長 佐伯 健二

己
他に勝たんと欲する者は、須らく先ず克己の勇氣を興起すべし。己に克つことを得ざる薄志弱行の徒は、安くんぞ能く他に勝つことを得んや。苟くも本校に就学する者は、緊禪一番、常に斯の氣を鼓舞振作することを要す。
昭和丁丑秋日
八十二翁 晩登書

(創立者 豊田太蔵先生の遺訓による)



「ふるさと」を歌う。炸裂する関東支部の「女子力」

2016年 総会のお知らせ

時 8月13日 (土)
受付 12:30~
所 セントパレス 倉吉 (倉吉駅前)

◇毎年、「同窓会活動協力金」(1口=2000円)を募っています。 関連記事 5面

校門の桜並木は満開だった。何とも妖しいその表現に、少し大人の世界に踏み込んだ気がした。1979年の校舎移転に伴い、桜並木は現在、北栄町役場大栄庁舎の入り口を彩っている。その木の下には同窓生たちの多くの思い出が埋まっている。(寄)

桜並木



いくえいを歩く

「桜の木の下には屍体が埋まっている！」作家梶井基次郎の短編「桜の木の下には」の冒頭の文章だ。入学して間もない国語の授業で教師が紹介してくれた。

アルゼンチン・ブエノスアイレスから S44卒 宮脇利博

在学中に創立60周年を迎え、本校の由来及び変遷を初めて知った。卒業して東京・江古田の晩登塾(学生寮)で勤労学生としてお世話になった。そして30年ほどたった頃、益で帰省した折、アポも取らずに豊田家を訪問した。「晩登塾でお世話になりました」とお礼を述べ、仏壇に手を合わせた。お茶を入れるからと奥様が席を外された時、部屋を見渡しながらかつらし向きが相当厳しいのでは?と想像した。そして、側の古びたソファに腰を下した途端、ソファの上で仰向けになってしまった。腰掛け部分の布地がゴムのよう

「私財をなげうった」豊田家…、その重さを知った。



「指圧教室」でボランティア。(写真中央)

に伸びていき、お尻が床に着くと同時に両足が宙に浮いてしまったのだ。「嗚呼!私財をなげうつとはこういうことなのか!」…。ドーンと身体全体でその思いを受け止めながら、暫く天井を見ている。ソファの下で力なく揺れているバネを、手のひらに感じながら…。奥様は、「学校再編で校名問題が起きているが、皆さんの力で『育英』の名を残してください」と繰り返された。幸い「育英」の名は残り、後に豊田家ゆかりの財団から多額の寄付があったと聞いた。それが、「豊田記念会館」である。鳥取から有為な人材を輩出するという豊田太蔵・收先生父子の思いを込め、最後の私財を清算されたのであろう。感謝。

私の半世紀

S41年卒 佐々木 久

昭和42年春のこと、自宅で一浪の後、念願かなって希望の大学に合格。祖父・父母・二人の妹に見送られて故郷を後にしました。私は分家の三代目。墓には、伯母(幼少のみぎり病没)の小さな墓石がぼつんと置かれていた。置かれていた。置かれていた。

商船大学を卒業。中堅の外航海運会社に就職。仕事柄、国内外(海外は3ヶ国。延べ10年ほどの勤務)を転々しました。退職前の職務は、経理・税務・財務の管掌です。外国航路の船長になるつもりで商船大学に行ったのですが、職業として船に乗ることとはありませんでした。

65歳直前に退職。故郷の空に帰ってきたのが14回目の引越でした。45年前には当家の霊は一つでしたが、帰郷してみれば墓に眠っている霊は七つに増えていました。当初の「人間到る処青山有り」の気概は色あせて、今では「墓守」に勤めております。

帰郷して三年半。もうすぐ古稀を迎えます。リタイア後も、地域医療に関わっていきます。S49年卒 飯田 綾子

私たちが昭和49年卒業生は還暦を迎え、私は今年の3月末で定年退職です。

会員からのメッセージ



また、昨年は、地域探求の時間を通して、育英の生徒さんたちと交流できたことを、大変うれしく思いました。学校から良い機会を頂いたことに、感謝しております。

今年も、フリースクールも開設します。

S37年卒 阪本 秀樹

現在、塾・予備校・専修学校と3つの草鞋を履き、毎日バタバタと動き回っています。それに、今年もフリースクールの開設と、年を考えずの行動に周囲の者を困惑の渦の中に巻き込んでいます。

好きなことが出来、それが社会貢献に少しでも繋がりはしないかなの気持ちで動いています。その意味においても、周囲の協力に感謝の気持ちでいっぱいです。年を重ね、同窓生の一人として育英高校の発展を心の底より願っています。

東から西から様々に、

介護施設を起業して12年

S44年卒 田熊 博文

入学すると直ぐに満開の桜の下で応援歌練習があった。美しさと厳しさを同時に味わった。それが、強烈な思い出。

学校祭も楽しかった。クラスみんなで知恵を絞って、何日もかけて竹を組んで紙を貼り、立派な象徴物を作った。

ファイナレはランドファイアー。燃えさかる象徴物を囲んでフオークダンスを踊った。歌も歌った。「若いってすばらしい」「オクラハマミキサー」を今でも口ずさむ。ともかく女子と手をつなぐのが、ものすごく恥ずかしかった。

金融機関に30年勤めたあと、今の仕事を起業して12年になった。高齢者の方々が、心豊かに健康的に暮らせるよう、地域の幸せ目指して頑張りを続けている。(中部福祉会あずま園理事長)

東京の晩登塾でお世話になりました。それは、仕事しながら大学に学ぶ育英卒業生だけの寮で、豊田家が作られたものでした。

私は、現「東京メトロ」に勤めながら大学に通いました。部屋代は月360円。こんな恵まれた寮は、他には無かったのではなからうか。「育英」という校名の由来、「晩

晩登塾の思い出

S34年卒 森本 紀紘

「登」の意味を知ったのはこの頃のことです。



いま育英が2度目の学校再編の恒例の忘年会で波に晒されようとしています。何としても再編から母校をまもりたいという気持ちでいっぱい

タイのアユタヤから「みぎわん絵日記」

漫画家 正善(田中)みぎわ (H15卒)



みぎわんのひと言

フェイスブックで雪景色を眺めただけで、身震いする今日この頃。スマホ1つで国境を超える便利な世の中です。

322名の出席 “歴史的”総会



会場のあちこちであふれる「育英パワー」

平成27年度総会は8月16日、倉吉駅前ホテルで、会員322人を集めて開かれました。同窓生である、前県高校長協会会長の松本清治さん(60)が「育英が生き残るには」と題して記念講演。会場のホテル責任者は、「300人を超える高校同窓会は初めて」と驚かれました。

総会出席者一覧

- ▽S27卒 森本満喜夫
- ▽S28卒 川上祐一、竹信和彦、田中静穂、布袋正喜、横山國徳
- ▽S30卒 穂山弘文、石田昌弘、西谷悦夫
- ▽S31卒 岸本俊彦、竹中達博、長谷川俊秀
- ▽S32卒 多田典子、富谷雅子
- ▽S33卒 松井幹雄、山脇栄一郎
- ▽S34卒 相見楓子、岡崎 坦、桑田紀代、竹中須美子、戸田通昭、永田 収、早川玲子、牧野紀史、森本紀紘、山本紀康
- ▽S35卒 穂近三郎、河本智津子
- ▽S36卒 小谷悠一郎、山根靖子
- ▽S37卒 之助
- ▽S38卒 遠藤一義、河野美由紀、木下博夫、福留伸昭、馬淵義則、横山隆義
- ▽S39卒 穂山恒雄、井木 勲、杉原憲靖、田中健市、吉野勇雄
- ▽S40卒 大谷卓夫、道祖尾均、南場一、平井 隆、三嶋一正
- ▽S41卒 飯田正征、井中一、高力賢一、佐々木久、染川磯一、谷武夫、松岡義雄、松岡玉枝
- ▽S42卒 澤田豊秋、杉山和恵、高田博正、竹蔵厚、竹本紀徳、谷口厚史、時枝義博、那須典久、矢積輝幸、米田幸博
- ▽S43卒 岩本幸恵、岡崎功、高尾敏雄、浪花良孝、前田道明、八幡伸八
- ▽S44卒 石賀美知子、奥田和雄、桑崎俊文、佐伯健二、佐伯恵美子、坂田秀樹、坂本克章、篠原重義、盛山 明、田熊博文、田中精一、永田芳和、中信貴美代、幅田信一郎、町田貴子、宮脇利博、山下善正、山根正二
- ▽S45卒 河本真弓、久米美佐恵、田中一朗、西中明美、長谷川和文、幅田佐美子、平野宏幸
- ▽S46卒 四門隆
- ▽S47卒 池本幸雄、井島暁洋、磯江保、小川美知子

集いの情報(支部から)

2015年夏〜16年春

東伯支部の総会は

2月27日18時から

1月31日役員会(石見会館)

で、支部総会への取り組みについて協議しました。

「育英高のイメージアップを頑張ろう!」と意気投合して、懇親しました。

(支部長 伊藤 喬)

西部 今年6月26日

米子・境港・日野郡・西伯郡在住者の集まりです。昨年の総

会は6月23日(日)、「ハーベス トイン米子」で開き、15人が参加でした。

今年6月26日(日)12時30分から同ホテルです。参加をお待ちしています。

(支部長 木下博夫)

赤碓

(27年5月23日・光本・25名)

今年の予定は、5月下旬。にぎやかな集まりにしたいと思っています。(支部長 那須典久)

関西

師走の「都大路」が楽しみ。今回も激励会を開きました。

昨年6月7日に開催した第47回総会で新役員を選任しました。その後、2回の役員会を開く傍ら本部総会や大阪鳥取県人会の行事、関西鳥取ファンの集い等に積極的に参加して交流を深めています。

12月17日には「Hセントノーム京都」で、全国高校駅伝に出場する女子チームの激励会を盛大に行いました。各年度選出の



「都大路」女子を激励=京都で

幹事を中心に活動の拡がりを追求しています。

(支部長 岡田信吾)

大栄 今年3月19日

昨年の支部総会は3月14日、JR由良駅前「グリーン大栄」で開きました。21人が参加しました。

今年3月19日、同会場で開催する予定です。参加者をもっと増やしたいと思っています。

(支部長 田中精二)

倉吉支部は、新たに「倉吉の集い」とネーミング

(時:6月21日 所:倉吉シティホテル・参加者は82名)

迫り来る第二次高校再編に向けて、育英存続の鍵を握るのは「学校の活力」と「同窓生の強い結束力」であると、再確認

関東支部(角盤会) 呼びかけの範囲を広げる

関東支部は、「鳥取中央育英」になる前に名前を「角盤会」とした。校名が変わっても、支部名は変わらないためである。

ここ2年ほどは総会への呼びかけ範囲を拡大した。案内を東日本全体に広げたのである。その結果、出席者が10名ほど増えた。「こういう会があったのか」という喜びの声をいただいた。少子高齢化が進み、故郷を遠く離れて暮らす卒業生の孤独感が強まっているように思われ

する総会となった。

総会では、もつと気軽に集まりやすく、「倉吉の集い」とするという提案を全員で確認した。

講演では「集い庵」山本竜門氏のユーモアたっぷりの語り口に、会場に笑い声が響いた。

懇親会では、シナリオ作家足立紳さんの「百円の恋」の上映会PRがあり和やかな雰囲気になった。

懇親会で「百円の恋」PR中

(H11卒 斉尾記)



懇親会での「百円の恋」PR中

る。交流の場としての角盤会総会をさらに充実させていきたいと考えている。

(支部長 木村 由紀雄)

女子力、全開の総会

昨年の6月に関東支部総会に初参加しました。約70人もの同窓生が集い懇親を深めました。とりわけ、女性陣の元気あふれる姿が印象に残っています。

田中祐輔さん(昭24卒)元支部長)の名指揮で、「ふるさと」を大合唱しました。圧倒的パワーに心震えました。

(会長 佐伯記)

集い 同級会グループクラス会

S41年 6回目の同級会

幹事 飯田正征

11月20日、6回目の同級会を開催しました。

恩師の戸田、岡本充先生を囲み大いに語りあい、旧交を温めることができました。

そして、夜の更けるのも忘れ、それぞれ自分達の存在感を

強くアピール。気づけば日付が変わっていました。翌日は、数名で健康食品を求めてミニ同級会もしました。

皆さん、まだまだ若い!

2年後の再会が楽しみです。

還暦から 5年ぶりの再会 S44年卒

(11月4日 石見会館)

還暦同窓会以来、5年ぶりの再会を楽しみに全国から総勢82人が参集した。

恩師の岡本・戸田先生も迎え、高齢者の仲間入りしたにも



久しぶりの語り

かわらず、高校時代に一気にタイムスリップした。

当時の愛称で呼び合い、思い

出に話が弾んだ。また、どこからともなく回ってきた懐かしい当時の写真を手に大笑い。最後に校歌や応援歌「角盤山」を大合唱し、5年後の古希での再会を固く約束し、散会した。

(記:竹田博志)

「今だからいえること」を、暴露... したり!?

S53年卒同級会

(27年8月16日 ホテルセントパレス倉吉)。40歳の時に1回

目。以来16年ぶり。

5名の恩師をお迎えし、総勢50名の参加となりました。

恩師の先生や参加者一人ひとりの近況報告や、「今だからいえること」と題して高校時代のエピソードなどで盛り上がりました。

さらには昭和50年代クイズ、最後には全員で応援歌「角盤山」の大合唱で閉めました。

当時にタイムスリップしたような懐かしさも楽しいひとときを過ごしました。

(記:宍戸靖雄)

約200人が協力 「同窓会活動協力金」に。

1月末現在

夏の総会以後、次々にご厚志がよせられました。お礼と領収書を兼ねお名前を掲載します。

(本部事務局)

- S 20卒 徳山 積、吉田君枝 S 25卒 秋田俊作 S 26卒 近池忠義 S 27卒 森本満喜夫、前田宣明、川中義雄 S 28卒 田中静穂、川上祐一、布袋正喜、秋山信孝、中野博保 S 29卒 田中悦子、石賀寛子 S 30卒 石田昌弘、西谷悦夫、亀山弘文、今出真里子 S 31卒 岸本俊彦

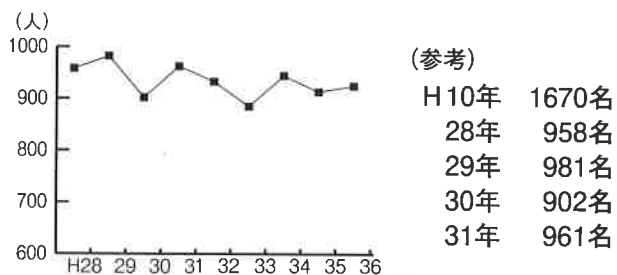
- 彦、森田秀雄、樋口悦子、谷口敦子 S 32卒 廣田久徳、富谷雅子、田中 鍛、菊本辰道、多田典子 S 33卒 山脇栄一郎、松井幹雄、青山益敏、御古三樹男、近藤 賢、岡田正記、森本忠善、石田文代、石田裕通、梅田三喜子、山下 博、大岡敏子 S 34卒 早川玲子、牧野紀史、桑田紀代、山本紀康、竹中須美子、岡崎 坦、永田 收、相見規子、戸田通昭、信田昭弘、前田廣行、福馬頼子、上山寛光、森本紀紘、今西玉江、小橋士郎、福光則芳 S 35卒 穂近三郎、大田操、宮川厚司、小泉恭一 S 36卒 山根靖子 S 37卒 吉田卓史、山根郷治、流田正義 S 38卒 木下博夫、遠藤一義、中本晋己、森本律子、木村由紀雄、馬淵義則、福光

- 美智子、福田正人 S 39卒 岡田信吾、杉原憲靖、橋谷米子、西中一良、西澤 功、横山富士子、斉藤俊子、村尾妙子 S 40卒 平井隆、道祖尾 均、塚田義昌、矢田睦子 S 41卒 佐々木久、染川磯一、井中 信一、高力賢一、飯田正征、野川正樹、佐伯典子、杉信民子、牧慶子、小原邦彦、吉井健児、石賀良幸、北山通朝、松岡義雄、松岡玉枝、深水寛二 S 42卒 高田博正、杉山和恵、矢積輝幸、澤田豊秋、時枝義博、谷口厚史、竹歳厚、竹本紀穂、若松洋二 S 43卒 八幡伸八、高尾敏雄、前田道明、岡崎 功、浪花良孝、鈴木伸子 S 44卒 佐伯健二、佐伯恵美子、篠原重義、山根正二、桑崎俊文、田熊博文、宮脇利博、山下善正、西

- 本美紀、道祖尾博子、森山孝志、竹歳茂機、岩田典子、中田延章、小谷敬恵、竹田博志、長尾麻里子、前田寛子、坂本克章、永田芳和、高澤昭元、石賀美知子、木本準一郎、竹中由右子 S 45卒 平野宏幸、田中一朗、西中明美、長谷川和文、石賀康夫、信田満江、久米美佐恵 S 46卒 四門 隆、熊本俊龍、黒田俊一、井上正美、北村弥生、近藤敏夫 S 47卒 黒松悟司、井島暁洋 S 48卒 伊藤 喬、山本秀正、山根涼子、日高富美子、松本清治 S 49卒 廣芳洋一、谷口千鶴子、西尾寿博、飯田綾子、塚田広二、横山尚登、生田香津美、定常みどり、矢田宏人、秋山英正

- S 51卒 本庄克則、吉田弘幸、西原信男 S 52卒 吉田仁美、岸本哲也、竹中哲喜 S 53卒 妻由静代、遠藤昭彦、倉繁良文、村上千美、加藤賢二、S 54卒 竹安 修、門脇博 S 55卒 竹歳朋晃、横山美紀子、伊達浩二 S 56卒 田中浩一、馬場智子 S 57卒 田中慎一 S 59卒 堀尾昌志、松本雅文 S 60卒 灘本陽子 S 61卒 眞山隆博、黒田美穂子、S 62卒 本田啓恵 S 63卒 朝原直也、横山敬道 H 1卒 中井隆至 H 2卒 安谷忠浩 H 3卒 真也加玲世 H 6卒 坂本浩憲 H 10卒 倉長千尋 H 23卒 横山千尋 H 27卒 山本重利沙

財政強化の新しい取り組みです!



これからの高校教育は…。育英110年と中部の変遷

第1次高校再編
倉吉産業高・倉吉工業高が再編→倉吉総産
赤碕高・由良育英高が再編→鳥取中央育英

中部地区は6高校になる
鳥取中央育英・倉吉総産・倉吉東
倉吉西・倉吉農・倉吉北



昭和40年前後
第1次ベビーブーム

全国レベルで活躍

- 陸上：インターハイの男子総合優勝3回
「都大路」に準優勝2回
- 水球：インターハイ優勝1回
国体優勝3回
- 新聞：全国年間紙面審査12年連続最優秀



92年の「都大路」で準優勝(2時間5分33秒・歴代2位:1区中央=由良育英高・中原大輔選手)

由良育英1学年普通科6・家庭科1
(1学年約360～370名)

- ▽県立高校7校
由良育英・倉吉東・倉吉西・倉吉農
この頃に新設・再編された高校
赤碕高(旧東伯実業から全日制へ)
倉吉工業高
倉吉東高工業科(電気・機械)は募集停止、その2科が独立してスタート)
倉吉産業高
倉吉東高商業科は募集停止、河北農高に商業科新設。校名変更で、「倉吉産業高」。
- ▽「松柏学院」倉吉北高新設

「少子高齢化」が進んでいる。平成31年には、中部地区の中卒者は951名、67人の減少となると推定される。あるべき中部の姿を、育英の歩みとともに考えたい。

県立東伯高校と鳥取育英高校とが統合される

鳥取県立由良高等女学校

1951年
県立由良育英高スタート

鳥取県育英高校

〔太平洋戦争〕

昭和20年代：新制高校のめまぐるしい分離統合の結果…



通学風景

由良育英高
倉吉高校が分離独立→
倉吉東・倉吉西
倉吉農高
河北農高

鳥取県育英中学

鳥取県倉吉農学校
鳥取県倉吉中学
鳥取県育英中学
鳥取県河北農学校
鳥取県倉吉高女
鳥取県由良高女

(資料)1951年3月県立高校へ移管

その譲渡契約書抜粋(鳥取県知事・育英会理事・教育委員会教育長3者の署名捺印抜粋)

今般鳥取縣(以下單に甲と稱す)は財団法人育英會(以下單に乙と稱す)と左記條件に基づき乙の經營する高等学校を甲に譲渡することを確約するための本契約書貳通を作製し双方署名捺印の上各その壹通を領置するものとする。

記

- 一、甲は本契約書に乙より学校の譲渡を受けたる後之を新学制六・三・三・四制による普通科を中心とする縣立高等学校として東伯郡由良町大字由良宿に存続せしめその校名中に「育英」の貳字を挿入するものとする。
- 二、甲において将来財政上その他の都合により前記高等学校を廃止又は移転、組織を変更する計画を樹つる場合にはこれを乙に譲渡する意味をもって豫め乙に對し協議するものとする。

母校育英の創立者豊田太蔵(号晩登)は、明治国家の発展から取り残されている郷土を憂え、若くして中学設立の志をたてた。

型にはまらない個性的なリーダーが地域に必要なという信念も生涯変わらなかった。

困難や不運に屈すること

豊田太蔵と「克己の精神」
それは、育英のルーツ

S33年卒
松井 幹雄
(元拓殖大学教授)

なく初志を貫く。

彼は、「克己」を学生に説き、自ら「克己」の人生を實踐したのである。

この類例のないルーツに誇りと勇気を学ぶことが、育英の伝統であり新しい育英の創造である。



創立者 豊田太蔵先生

1906年
育英豊創立

1906年12月鳥取県知事認可

- 卒 隠岐依子、河本晴美、桑本由喜子、定常由美、田中丈久、中村彰伸、
本田啓恵、松田英司、矢木国夫、
S63卒 朝原直也、大西慶祐、北野哲也、小澤 靖、谷本真一、藤井宏基、藤田裕仁、森脇慶子、横山敬道
▽H1卒 中井隆至、H2卒 横山敬道、坂西理之、安谷忠浩、山根隆治、
米丸秀行、H3卒 足立 純、相生祐司、岩世 祥、小椋 誠、木瀬至也、
谷岡靖夫、橋谷一義、物部吉生、
H4卒 岩崎啓介、桑崎美博、近池政彦、中西 剛、▽H5卒 門原正樹、
門脇正雄、田中安典、▽H6卒 岩井直義、北村耕基、栗原成人、坂本浩憲、澤 結喜、椎本かおる、柴山政則、竹森三智子、玉木千春、富森実枝子、中上秀一、中嶋一貴、濱本充一、前田陽子、松岡友明、松本美加、
森谷孝子、森谷敏弘、山崎千津子、
山浦範章、朝倉俊之、▽H7卒 伊澤茂雄、田村政司、中村康博、深田真市、松本 潔、山崎昌史、▽H8卒 大平高志、▽H10卒 倉長千尋、佐藤なつ子、谷口耕平、二本欣亮、
福田一隆、▽H13卒 時枝雅篤、
H15卒 谷田明日香、村川純一、
H17卒 池山 涉、川上恭平、種子善之、西村 歩、▽H18卒 岩間奨平、中村美香、宮川大志、▽H20卒 井上秀文、佐々木直弥、山崎雄太郎、
山本真生、▽H21卒 池山 徹、岡本 翔、長棟崇弘、▽H22卒 木天陽平、北中美加、野田美志保
▽学校事務局 横山尚登、去戸靖雄、山口宏志、岡本 亘、小原修治、北尾和美、石橋昌暁、今崎哲也、松田貢一、小塩大輔、榎本久志、石井栄行
以上322名

今後の県立高等学校のあり方に関する基本方針

(案) 抜粋

鳥取県教育委員会

- 学校の規模と生徒減への対応
標準的な規模は、(1学年)4～8学級程度。生徒数減少には、原則として学級減で対応
1学年3学級以下の小規模校に関する基準を作成。今後の検討
※中部地区の対応方針
- ①計画期間中の生徒数の減(67人)↓原則として学級減で対応
 - ②各学校の学級減について
生徒や保護者等のニーズ、中学校卒業見込者数、入学者数・地域の産業の状況等を総合的に勘案して決める。
 - ③他地区よりも普通学科の定員比率が高い。各学校の規模が比較的小規模↓普通科高校の教育的効果をより一層高めるための方策を検討。

「学級減ではなく抜本的改革を」

～緊急アピール～ 同窓会長 佐伯健二

鳥取県教育委員会は、次期(平成31～37年度)県立高校改革基本方針案を先日発表しました。本年度中に改革計画を策定する予定です。中学卒業者は全県で367人減ると想定し、さらに10学級程度減らす考えです。県中部では2学級ほど減る計算です。このまま学級減を進めて良いのでしょうか。

高校教育の成果は学校規模と大きな関連性があります。これまでの高校改革で平成10年度以降、全県で50学級近く減りました。県教委は標準的な学校規模を「1学年当たり4～8学級」と定めていますが、この「適正規模」に満たない学校が増えています。

中部地区の場合、適正規模の学校は5校のうち、倉吉東(5学級)倉吉総合(同)鳥取育英(4学級)一の3校(60%)しかありません。東部は9校中6校(67%)。西部は8校中7校(88%)です。8学級(鳥取西、米子東、米子西)や7学級(鳥取東、八頭)を維持している学校もあります。中部の小規模化が際立っていることが分かります。

近年、駅伝やバレーボールのような普及スポーツでも、単独校ではチームが組めず複数校による合同チームが登場していますが、競技力の弱体化と学校の小規模化は決して無関係ではないでしょう。

学級減が進むと、鳥取中央育英が3学級、倉吉東が4学級になる可能性も出てきます。学力向上の視点からも、さらに小規模化を進めることが良いとは思われません。全校が小規模化することによって「共倒れ」になる心配も出てきます。

以前の高校改革では、赤碕と由良育英が合併し、「鳥取中央育英」が誕生しました。次の統廃合を断行する時期が来ているのかもしれませんが。また、通学学区を今の「全県一区、から中学区へ見直したらどうでしょうか。「問題の先送り」では、中部の高校教育は決して良くなりません。

育英に望む

平成27年8月16日の総会でアンケートしました。主な意見をピックアップしました。

- ・母校が大好きです。「克己の精神」で毎日楽しんでます。
- ・人間力を育ててください。積極的に地域・社会へのボランティアの取り組みを期待します。
- ・「今後の活躍も期待しています。頑張れ育英！」
- ・生徒の皆さんのご活躍を願っています。(※同様の声、多数)
- ・生徒諸君！文武両道の活力ある学校生活を送ってください。
- ・今こそ、少人数学級を実現するチャンス。きめ細かい指導を行うことを考えませんか？
- ・皆さん、頑張ってください。学校を盛り上げてね。
- ・かつて、統合・校名変更の件も結局県教委に押し切られた。今回は難しいと思われる。どのようにしたらよいか小生も判断に苦しむ。
- ・全国に鳥取育英の名を響かせてほしい。・存続を切望します。
- ・熱意ある学生が育てばと思います。
- ・定員割れが一番ひどい。この点から改善を。
- ・あるOBの声：①制服のデザインがダサイ。生徒が“着たい”と思うようなものに。②以前にあった「いじめ」の問題を、今でも気にする保護者がいます。学力・校内の雰囲気・マナー・服装などレベルUPを！
- ・廃校にならないように同窓生が一丸となって取り組みましょう。
- ・学力を基盤とした人間力をどう育てるのか、地域やOBとして何が出来るか思案しています。
- ・集団を育てるだけでなく、社会に通用する人、人類愛を育む教育をしてほしい。
- ・ぜひとも、育英が存続出来るよう学力アップ・高校の魅力アップを！
- ・育英がいつまでも発展するよう、出来るだけ協力したいと思えます。
- ・高校の時、甲子園に行けなかった。何とか甲子園出場を！※多数

元気であれ、学力UPを！

- ・鳥取中央育英は永遠なり。ますます発展することを夢見ています。
- ・私と息子は、全て由良育英卒です。残念ながら孫は東京に住んでいますが可能性が少しでもあれば、母校に入れたいと考えています。母校を愛しています。
- ・卒業後には、様々な目標・希望を持って生きていく人間の集まりです。学ぶ気持ちの弱い生徒から、在学3年間で自分の人生を変えるのだという強い気持ちで授業を受けている生徒までいます。生徒同士が、お互いの目標や希望を応援する、応援に応えようと努力する関係でなければならないのです。どうか、集中して学習する授業時間にして下さい。
- ・育英魂健在
- ・学力向上に努めてほしい。国公立大学入学者が減になっている。高校再編に関係してくる。文武両道を再度考える。
- ・進路状況(4年制大学)向上と校風(在校生の学校生活の状況)改善し、以前の由良育英に戻していただければと希望いたします。
- ・最近の部活成績に不満。生徒も先生も一人ひとりが、育英を発信する存在です。期待しています。
- ・大栄中からの入学者が、10名以下現状を何とか20名以上にしないとダメではないでしょうか。このままでは、地元の由良に、育英という高校は必要なしということになってしまいます。



「地域探究」に取り組む2年生



和やかに懇親

横の連絡を強化

学年理事総会に70名

今年度の学年理事総会が1月31日、倉吉市内で開かれ、出席者約70人は、一層の活動活性化について話し合いました。

総会では①組織強化②学年理事代表を選出し、早急に事務局へ②正確な名簿づくり③各学年同窓生の住所変更や間違

いなども事務局へ③「同窓会報」制作協力④同級会開催や同級生活躍の情報を寄せる⑤など申し合わせました。このほか、先に県教委から発表された「県立高校の在り方に関する基本方針案」について、同窓会としてどのように受け止めるべきか、協議しました。出席理事からも母校発展を願う力強い意見が発表され、問題や課題について認識を深めました。

会員の動静

平成27年～28年

- 【H27年】
- 8月13日「さぶろう会」 17名
 - 8月16日 昭和53卒体育コース同級会 セントパレス倉吉 37名
 - 11月4日 S44卒同級会 石見会館 82名
 - 11月20日 S41卒同級会 グリーン大栄 63名
 - 11月27日「辰巳の会」(S34卒) 紅葉狩り 光悦寺・減光庵 17名
 - 12月17日「都大路」出場女子激励会 関西支部 約30名 セントノーム京都
- 【H28年】
- 3月19日(土) 大栄支部総会 グリーン大栄
 - 4月5日「辰巳の会」醍醐寺 京都駅10時
 - 5月下旬 赤碓支部総会 光本
 - 6月5日(日) 関西支部総会 大阪東急REIホテル(旧東急H)
 - 6月25日(土) 倉吉支部総会 倉吉シティホテル
 - 6月26日(日) 西部支部総会ハーベスト米子

「子どもの頃から、空に憧れがあつて、自分で飛行機を操縦して飛んでみたいと思つていて、59歳になった。来年は還暦。ぼけ防止に人のやつてないことをやってみよう」と。3年かけてパイロットのライセンスを取りました」



“空を飛ぶ” 実現!!

「鳥取すいか空港」で、今も、青春のまっただ中

徳山幸一 (S45卒)

（特別栽培促進グループの農園経営。山陰唯一のスカイマイクループレッククラブ会長）。
問 楽しさとかは？
「ひとりで言うとなら『ロマン』です。空に飛んだ瞬間、全く別の世界が広がります。『そらとも』は全国に出来るし、ハングライダー・ラジコンなど全てが友達！」
「家族はあきらめているみたいですね。育英時代は青春そのものだったけど、今この時も青春。青春を感じながら生涯終えたいと思つています」

足立紳さんが脚本した「百円の恋」(NHK総合TVで全国放映)が、「第30回日本映画アカデミー賞」の5部門で優秀賞に選ばれた。
3月4日には最優秀賞が発表になる

日本映画界で、はばたく、北栄の空を、空中散歩

足立紳の話「このたび映画『百円の恋』の脚本で受賞した。子供の頃から、賞に縁がなかったのが嬉しかった。喜んでくれた育英の同級生もいる。それが賞をもらったこと以上に嬉しい」

昭和61(86)年卒のコーナー

3年の秋に鳥取国体(わかとり国体)があった。由良育英の活躍がめざましかった。陸上で上位入賞5名。水球が優勝した。



全国優勝の報告会を終えて(水球部)先頭は穴戸教諭

しみです。これからはOBの期待に添えて頂けるものと、強く希望しています。
今でも後悔は、2年の時、部を辞めてしまったこと
南場 信一

S62卒のコーナー

西垣 栄太郎
継続は力なり？
「えっ！それが本来の意味かいな？」…。

高校の授業で受けた衝撃は、今でも忘れられない。それは、「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」(米沢藩主 上杉鷹山)の本来の意味を知ったときのことだ。

「為せばなる、」という言葉の本来の意味を知って、

驚きと同時に、学ぶ楽しさを感じ、「勉強するぞ！」という気持ちが高まった。

あれから30年。知っているようで知らないこと、分からないまま曖昧にしていることなど、あの時の思いはどこへやら、恥ずかしい思いをすることが多い。あの時の気持ちを持ち続けられたら良かったと後悔するばかりだ。

3年の時が「わかとり国体」の年でした。学校全体に大きな活力が満ち溢れていたと記憶しています。育英は、今もスポーツには力が入っていますが、私は残念ながらスポーツはからつきしので、仕方なく(?)勉強に打ち込みました。
その結果、何とか東京の大学に入学でき、卒業後は地元

鳥取の金融機関に就職しました。これも縁あつてのことと思いますが、育英に毎日の様に伺う機会に恵まれ、懐かしい先生方ももちろん、初めてお顔を拝見する先生方から大変可愛がっていただきまし。特に体育教官室にお邪魔するのは本当に楽しく、今までこれほど楽しかった時期はありません。
今は残念ながら、育英との日常的な関わりは無くなりましてが、新聞等で育英のみ皆さんの活躍を見るのが大変楽しみます。

唯一後悔していることは、3年生の時には、「わかとり国体」という最高の目標があったにもかかわらず部を辞めたことです。練習の辛さから、2年の途中でレスリング部を退部してしまつたことです。全国舞台で輝くという、そんな夢を諦めてしまつたことです。そういう私も、地元で就職して勤続26年。親として子どもに努力と継続、辛抱、忍耐の大切さを教える毎日です。子どもには、夢に向かって後悔のない学生生活を送ってほしいと思つています。



育英祭で 平成27年7月

高校生視点で地方創生

「地域創生ハイクラス」活動や研究発表

北 栄

「地域創生ハイクラス」活動や研究発表の様子。会場には多くの学生が参加し、活発な議論が行われていた。

地方創生ハイクラスは、地域活性化を目的として、学生が主体的に活動を行う仕組み。今年度は、地域課題の調査や、起業家との交流などが行われた。

また、研究発表では、学生が各自の調査結果を発表し、互いに学び合っていた。

「地方創生ハイクラス」の報道
平成27年12月6日(日) 日本海新聞より

全国切符 小川、郡野、鳥目、杉内4強 鳥取育英勢、団体は3位



個人60m級2回戦 鳥目翔太(右)は足を狙ったタックルでポイントを重ねて4強入り。総合優勝は高橋大樹。

鳥取育英勢は、全国切符大会で好成績を挙げた。男子60m級では、鳥目翔太が足を狙ったタックルでポイントを重ね、4強入りとなった。また、女子100m級でも、高橋大樹が優勝を果たした。

団体戦では、鳥取育英が3位に食い込んだ。これは、男子100m級の鳥目翔太と、女子100m級の高橋大樹の活躍による。今後の大会に向けて、さらなる強化を図る予定だ。

▲平成28年1月31日(日) 日本海新聞18面より

写真と新聞報道で見る育英

ジャンプ 2016 1010

世界大会

陸上100m級
坂田 育斗 (鳥取育英高2年)

男子100m級で、坂田育斗選手が世界大会で優勝を果たした。これは、鳥取育英高の歴史に残る快挙である。

坂田選手は、大会で安定した走りを見せ、優勝を飾った。この活躍により、鳥取育英高の知名度も大きく上がった。

鳥取育英高2位、全国へ

U17水球 中国予選

鳥取育英高は、U17水球中国予選で2位の好成績を挙げた。これは、チーム全体の協力による快挙である。

中国予選では、鳥取育英高が最後まで奮闘し、2位の成績を収めた。この活躍により、全国大会への出場権を獲得した。

生徒と共に 頂上へ



安井博志(左)と生徒たち。安井先生は、生徒と共に成長を遂げた。

安井博志先生は、鳥取育英高の指導者として、生徒と共に成長を遂げた。先生は、生徒の個性を伸ばすことに力を入れ、多くの選手を輩出した。

先生は、生徒と共に喜び、共に悲しむ。その姿勢が、生徒の成長を支えた。先生は、これからも鳥取育英高を支え続ける。

平成28年1月4日(月) 読売新聞29面より

15部活

世界大会

- 〔レスリング〕アジアカデット選手権 (インド) 5位 三浦紘明
- 〔山岳〕クライミング・ワールドカップ・ブリアンソン (フランス) 44位 高田こころ
- 世界ユース選手権アルコ (イタリア) 28位 河上紘輝

全国選抜

- 〔山岳〕優勝 高田こころ
- 男子総合 2位
- 女子総合 2位

インターハイ出場

- 〔レスリング〕〈団体戦〉1回戦敗退 濱本虎之介・竹歳直樹・小谷駿介・山口千里・郡野海
- 〈個人戦〉個人フリースタイル55kg級 16位 小谷駿介
- 〔陸上競技〕100m 坂田育斗
- 200m 岩崎万季

国体出場

- 〔レスリング〕個人フリースタイル5位 小谷駿介 (55kg級)、個人グレコ5位 郡野海 (50kg級)
- 〔山岳〕少年女子ボルダリング 2位 高田こころ・古川日南子
- 〔陸上競技〕100m 坂田育斗、走幅跳 塩川直人、1500m 林輝

15進路

- (2016.2.12現在)
- (現役、過年度卒合計。1名の場合は数字省略)
- ▽国公立大学 (3) ▽私立大学 (17)
 - ▽短期大学 公立 (1) 私立 (14)
 - ▽専門学校 医療看護系 (14) ▽各種 (21)

- レスリング 岡太一(自衛隊ⅡH19卒) アジア選手権 3位
- 世界選手権 出場
- 山岳 高田 知亮(H26卒) アジア選手権 8位
- ワールドカップ 出場

青山剛昌氏 (S57年卒の) 「名探偵コナン」は、由良の町作りの「核」

同窓生 同窓生 同窓生

コナン大橋

青山剛昌氏は、鳥取育英高出身の漫画家です。代表作「名探偵コナン」は、由良町の町作りの「核」として、全国的に活躍しています。



同窓生 同窓生 同窓生

高総文祭出場

- 〔新聞〕亀本梨央・伊東七海
- 〔美術〕田口愛美・野坂菜摘・山田咲・國野珠蘭

中国大会出場

- 〔レスリング〕〈団体戦〉3位 濱本虎之介・竹歳直樹・小谷駿介・山口千里・郡野海・鳥目翔太・三浦紘明
- 〈個人戦〉個人フリースタイル50kg級 3位 小川元気、個人フリースタイル60kg級 優勝 鳥目翔太、3位 竹歳直樹、個人フリースタイル66kg級 3位 濱本虎之介
- 〔水泳(競泳)〕100mバタフライ 6位 海地勝大
- 〔水球〕中国高校選手権 3位 工川令央那、南憧哉、山根辰来、田中雄大、川上強也、黒田悠斗、原田征幸、村松強、梶原理玖、栗元大武、小林大真、新川雄大、西谷秀仁、矢野流星
- 〔バレーボール男子〕中国新人バレーボール大会出場 山下凌生、由田貴大、村岡未亜司、伊藤颯馬、土井連、井上僚、秋鹿伊吹、内田博基
- 〔陸上競技〕100m 1位 坂田育斗、200m 4位 岩崎万季、5000mW 5位 岡本桜、5000mW 7位 長田亜希
- 〔ソフトボール男子〕中国新人大会 山田光輝、別所広章、中前力也、山根直也、小谷駿太、三谷隆真

就職

- 公務員 鳥取県警察、自衛隊 (10)
- 民間企業 (19)
- 県内17・県外2

※2016年2月現在の進路志望先 進学70、就職29 (在籍123名)

葉わなかつた都大路の舞台で先頭集団で走る育英の姿を心から見たいと思つてます」

「OBとして、叶わなかつた都大路の舞台で先頭集団で走る育英の姿を心から見たいと思つてます」

「OBとして、叶わなかつた都大路の舞台で先頭集団で走る育英の姿を心から見たいと思つてます」

「OBとして、叶わなかつた都大路の舞台で先頭集団で走る育英の姿を心から見たいと思つてます」

「OBとして、叶わなかつた都大路の舞台で先頭集団で走る育英の姿を心から見たいと思つてます」

「OBとして、叶わなかつた都大路の舞台で先頭集団で走る育英の姿を心から見たいと思つてます」

「OBとして、叶わなかつた都大路の舞台で先頭集団で走る育英の姿を心から見たいと思つてます」

県総体ベスト3

- 〔レスリング〕〈団体戦〉優勝【17年連続19度目】 濱本虎之介・竹歳直樹・小谷駿介・山口千里・郡野海・鳥目翔太・三浦紘明
- 〈個人戦〉個人フリースタイル50kg級 優勝 郡野海、個人フリースタイル50kg級 2位 小川元気、個人フリースタイル50kg級 3位 福庭優、個人フリースタイル55kg級 優勝 小谷駿介、個人フリースタイル55kg級 2位 鳥目翔太、個人フリースタイル60kg級 優勝 竹歳直樹、個人フリースタイル66kg級 優勝 濱本虎之介、個人フリースタイル74kg級 優勝 山口千里
- 〔陸上競技〕〈男子〉100m 2位 坂田育斗
- 110mH 3位 寺田享平
- 400mH 2位 寺田享平
- 3000mSC 2位 小阪竜也
- 走幅跳 2位 塩川直人
- 男子総合 2位
- 〈女子〉100m 2位 岩崎万季
- 200m 1位 岩崎万季
- 800m 3位 林輝
- 1500m 3位 小倉帆乃佳
- 3000m 1位 小倉帆乃佳
- 3000m 2位 足羽美咲
- 100mH 2位 中井夢実
- 5000mW 1位 岡本桜
- 5000mW 2位 長田亜希
- 女子総合 2位

「この一年間苦しいけど、終わった後は予想外にも、清々しい気分を味わいました。悔しさはもちろんあるのですが、それ以上に何とも言い難い達成感が大きかったです」

「OBとして、叶わなかつた都大路の舞台で先頭集団で走る育英の姿を心から見たいと思つてます」

「OBとして、叶わなかつた都大路の舞台で先頭集団で走る育英の姿を心から見たいと思つてます」

「OBとして、叶わなかつた都大路の舞台で先頭集団で走る育英の姿を心から見たいと思つてます」

「OBとして、叶わなかつた都大路の舞台で先頭集団で走る育英の姿を心から見たいと思つてます」

「OBとして、叶わなかつた都大路の舞台で先頭集団で走る育英の姿を心から見たいと思つてます」

平成27年度 同窓会一般会計予算

取 入				単位 (円)
科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減△	摘 要
入 会 金	1,227,600	1,425,600	198,000	9,900円×124名
繰 越 金	128,803	450,290	△ 320,487	前年度繰越金
繰 入 金	2,000,000	652,500	1,347,500	特別会計より繰入
雑 収 入	597	610	△ 13	預金利息
合 計	3,357,000	2,529,000	828,000	

支 出				単位 (円)
科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減△	摘 要
事 務 費	700,000	450,000	250,000	通信費、振込手数料、用紙代、会報、総会経費(案内等)他
会 議 費	1,050,000	300,000	750,000	総会、役員会、学年理事会等
旅 費	350,000	350,000	0	県内外支部総会等出席旅費
渉 外 費	40,000	40,000	0	会長等渉外諸費
支部育成強化費	520,000	520,000	0	支部総会補助 支部割10,000円(7支部) 出席割 @1,500×300人
入会記念品費	155,000	144,000	11,000	新聞縮刷版
学校活動援助費	200,000	200,000	0	野球大会・全国等激励広告代他
激 励 費	100,000	100,000	0	全国大会等出場生徒への激励他
予 備 費	242,000	425,000	△ 183,000	
合 計	3,357,000	2,529,000	828,000	

* 会計年度 総会から次回の総会まで

本 部	支 部
会 長 佐伯 健二 育英 S 44 卒 会 長 代行 町田 貴子 育英 S 44 卒 副 会 長 多田 典子 育英 S 32 卒 戸田 通昭 育英 S 34 卒 木下 博夫 育英 S 38 卒 三嶋 一正 育英 S 40 卒 飯田 正征 育英 S 41 卒 上向 洋之 育英 S 41 卒 那須 典久 育英 S 42 卒 宇田川隆良 育英 S 49 卒 定常みどり 育英 S 49 卒 渡辺 貴男 育英 H 6 卒 永田 収 育英 S 34 卒 森本 紀紘 育英 S 34 卒 高力 賢一 育英 S 41 卒 倉長 千尋 赤碕 H 10 卒 横山 尚登 赤碕 S 38 卒 横山 隆義 育英 S 44 卒 盛山 明 育英 S 44 卒	監 事 西 伯 育英 S 38 卒 赤 碕 育英 S 42 卒 東 伯 育英 S 48 卒 大 郷 育英 S 44 卒 東 寺地 育英 S 49 卒 三 吉田 育英 S 51 卒 倉 吉 育英 S 34 卒 関 山下 育英 S 38 卒 西 岡田 育英 S 39 卒 木村由紀雄 育英 S 41 卒 磯 一 育英 S 38 卒

同窓会役員

来秋が

創立一一〇周年

学校長 横山 尚登

1906年(明治39年)12月1日に育英齋として創設された本校は2017年(平成29年)12月1日で満110歳となります。

その間、幾度も校名は変わりましたが「育英」という名は今日まで継承されてきました。荒波を乗り越え、栄光の歴史を

つむいで来た「育英」を支えたものは、創立者豊田太蔵先生が残された「克己」の精神です。創立110周年記念式典並びに記念事業が盛大かつ意義深いものとなるよう同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。

本部事務局から

昨年12月、朝倉光恵さん(琴浦町在住)が本部事務局に加わりました。



「どうぞよろしく
お願いします。」
絵=伊東寛敏(美術科)

母校の事務室で、週1回(水曜日)、同窓会関係の事務的処理、会員情報の整理などにあたっています。

平成28年卒学年理事

- A組 中林 晴菜、小谷 駿介
- B組 永田 真帆、二宮 智紀
- C組 入江 瑛梨、坂本 真輝
- D組 井勝 亮、岡本 桜

編集後記

「育英魂」というものは強いのだ」と痛感した。200名の会員が活動協力を寄せている。これからは、この会報が全国へ届けられる。多謝▽最近、「グズ」なニュースがいつぱい。「歯舞」が読めなかつた北方領土担当大臣・マインズ金利・ミサイル打ち上げの北朝鮮。(嗚呼)(集)

遠藤製パン所

山田 芳旭

鳥取県東伯郡北栄町由良宿 1770-1
電話 (0858) 37-2045
FAX (0858) 37-5537

書籍・文具、スポーツ用品

(有)朝倉書店

北栄町由良宿 499-8
☎(0858) 37-2025